

# 山口新聞

平成 25 年 1 月 18 日 (金)

NO. 39

農地・水・環境

## 守ろう地域の手で



39

少子高齢化が進む中、農地や施設を守っていくのが困難になってきていることから、地域を守るために会を立ち上げた。

また、子供たちに環境について関心を持ってもらうと、2007年から地元八代小学校と一緒に水辺の教室を年1回開催し、ツルのために設置した土水路

周南市の八代地域は周辺を山に囲まれた盆地にあり、本州で唯一のナベツル渡来地である。ツルは10月に渡来し、翌年3月までの冬季をこの地で過ごす。

私たちが幼少の頃には、100羽を超えるツルが渡来していた。近年は渡来数が減少し、昨年は6羽、今年は8羽となっている。

活動は水路、農道などの施設の草刈りや補修を行っており、ツルが渡来する直前の10月初旬に実施するツルのねぐらづくりにも参加している。

これからも、より多くのツルの渡来を願い、ツルと共存する郷をめざし、活動していきたい。

### ツルの郷を守る会 (周南市)

## ツルと共存する郷をめざし

共存する郷をめざし、活動していきたい。

きたい。

(代表、廣永洋二)  
|| 金曜日掲載 ||



①会員の皆さん  
②八代小児童によるいきもの調査 (ナベツルは昨年11月7日撮影)



【メモ】代表||廣永洋二||  
二△会員||143人、農業者、八代南土地改良区、ツルの郷支援隊、八代のツルを愛する会、ファームつるの里▽設立||2007年3月▽連絡先||周南市八代1902の1、周南市八代南土地改良区、廣永洋二 ☎0833・91・0175